70 号

なでしこ通信

2019 年度　秋号

美しい四季に親しむ私たちにとって秋は格別で、暑い夏を乗り越えたご褒美のように、スポーツの秋、食欲の秋、文化・芸術の秋、紅葉の秋、旅行の秋と何をするかワクワクする季節になる筈が・・・。強風の 15 号に続き、大雨の 19 号と超大型台風が相次いで日本を直撃し、各地に甚大な被害をもたらすなど、例年とは全く異なる様相をみせる季節となってしまいました。

ふと思い出されるのは、9 月に国連気候変動行動サミットで衝撃的なデビューを果たしたスウェーデンの 16 歳のグレタ・トゥンベリさんによる大人への怒りのスピーチ。それは、子どもの未来を奪っている大人が繰り広げる空疎な言い訳、そして、「お金のことや、永遠に続く経済成長というおとぎ話」に明け暮れる大人を有無を言わせず、強烈に問い詰める演説内容でした。

自然災害を目の前にして、命を守る対策も大切ですが、未来の子どものためにも、美しい自然を、地球を守るためにも、本気で大人一人ひとりの行動が強く求められていることを実感しました。

受賞おめでとうございます

知事褒章表彰受賞者	駿河区	眞保和彦	葉子　ご夫婦
第 64 回全国里親大会会長表彰受賞者	葵　区	清水道男	加代　ご夫妻
静岡県社会福祉協議会会長表彰受賞者	葵　区	永田正	久代　ご夫妻
静岡市社会福祉協議会会長表彰受賞者	葵　区	梶山昌利	智子　ご夫妻

新しい里親さん紹介

養育里親・養子縁組里親登録	令和元年 9 月	□ 清水区	1組
養育里親・養子縁組里親登録	令和元年 9 月	□ 駿河区	1組

養育スキルアップ研修

☆子どもの権利「真実告知体験談」演習

日　　時　：令和元年９月10日（火）
　　10:00～12:00
場　　所　：更生保護施設「少年の家」
参加人数　：里親24人
発 表 者　：里親３名

≪感　想≫

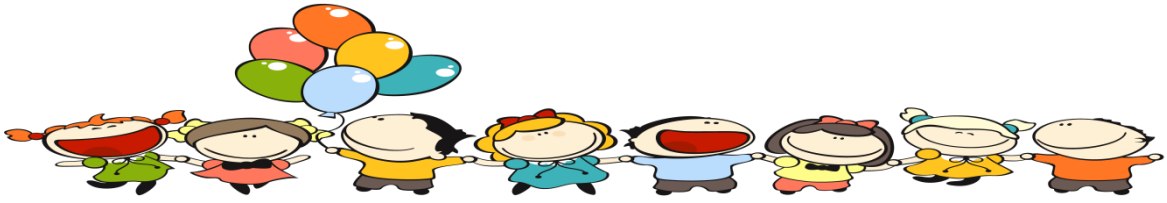
・事実とは、ありのままを伝えるということではなく、うそをつかず、自分の本当の気持を伝えることだと知りました。
・「あなた」をどう思っているか、どんな気持ちで迎え育てているか伝えることが大事だと知りました。

☆「発達障害の理解と支援」

日　　時：令和元年10月10日（木）
　　10:00～12:00
場　　所：更生保護施設「少年の家」
参加人数：19人
講　　師：静岡北特別支援学校教諭　長谷川　美穂先生

≪感　想≫

・発達障害の種類とその特性を知り、苦手な部分だけを見ずに、得意なことに合わせて支援していくことの大切さを学びました。
・先生の丁寧なお話、連携していくことの話は嬉しかったです。
・今日学んだことを実行し、自分の引き出しを１つでも増やしたいと思います。



第４回　キャリア・カウンセリング・プロジェクト　（Ｃ・Ｃ・Ｐ）

「就労継続支援Ａ型事業所　アレミティさくら」見学～実践

日　時：令和元年 10 月５日（土）9:00～15:00
場　所：「就労継続支援Ａ型事業所　アレミティさくら」
参加者：里子５名（支援学校・学級）　　静岡大学　准教授　井出先生　学生５人

７月から支援学校・学級の子どもを対象に開始したＣＣＰ。顔合わせを兼ねたクッキング作りに始まり、お仕事フェスタ参加～レポート発表会と回を重ね、最後は子どもたちと学生がペアになって、バスを乗り継ぎ、社会体験をしてきました。行きは少し緊張していましたが、ペアの学生が側で見守り、声かけをしてくれたので、自分で切符を取り、自分で料金をはらうことができました。

アレミティさくらでは、自分の好きな仕事を一生懸命に楽しそうにやっていました。担当者から「子どもたち全員、真面目ですばらしい…ここで働いてほしい」と誉めてもらいました。また、働いたお礼に、古着屋で好きな物を１つ選びプレゼントをしてくれることになり、子どもたちは、万遍の笑みで選んでました（ジーンズのパーカー、ベルト、上着）。

子どもたちは「働く喜び」を体と心を使って体験したと思います。

７月から 10 月まで色々な体験を学生と一緒の時間を共有し、関係を構築することができました。

感　想

「里　子」　・ゲーム本体の掃除を丁寧にやらないと、使う人が困ってしまうので、少し疲れたけど、最後までやることが大切だと思った。
・衣服を売った時、「ありがとう」って言ってくれたのが嬉しかった。
・カードの仕分けは、少し間違えそうだったけど、楽しかった。
分からない時、ペアの学生さんが助けてくれた。

「里親」・就労の問題、生活の場の確保、生活費の確保、自立に必要なスキルや対応、異性のこと、ゲーム・スマホや子どもの世界の広がりなど多岐にわたって話合いました。

お仕事つかれた～
お昼はみんなで
うどん屋さんで
食べたよ。

楽しいキャンプ

日　時　令和元年９月21日(土)～22日(日)
場　所　島田市山の家
参加者　　７７　人

東京から体操のお兄さん、
お姉さんがきてくれたよ

空気砲で相手の風船を割るぞ！！

今日のカレー最高　(^^)v

ちびちゃん達もお手伝い(^o^)

お菓子釣れた～
お絵かきせんべい
大好き♡
宝探しゲームも
ボール投げも射的もみんな
楽しかった

すごい楽しかったです。
皆に会えて嬉しかったです。
皆と遊べて楽しかったです
カレー作りがんばった。
また来年来たいです。

今年のキャンプは体操のお兄さん・お姉さんの登場から始まり、たけのこ体操、オセロゲーム、風船リレー、伝言ゲーム、空気砲風船割り、玉入れを大人も子どももみんなで楽しみました。カレー作り、キャンドルサービス、花火と超盛りだくさん。子ども達もみんな仲良し、ワイワイ遊んでました。今年のカレーは中高生男子の子ども達が中心に頑張って作ってくれました。大人達は、夜のおしゃべりサロンでいっぱい話して大笑い、日頃のストレス発散ができました。とても、楽しい１泊２日のキャンプでした。

2019 年度　里親月間記念講演会

幸 せ の カ タ チ　～本当の親子　本物の親子～

日　時　　令和元年１０月２０日（日）１３：００～１６：００
会　場　　アイセル２１　１階ホール
参加者　　１１８人

２０１９年度里親月間記念講演会は、原田亜弥子氏の基調講演、原田コーディネーターと４人の里親によるディスカッションを聴き、様々な里親子が織りなす家族の絆に涙ぐむ参加者も多く、会場は心が洗われ、ほっとするような温かみに包まれました。

【基調講演】

原田さんは、平成２９年にＳＢＳラジオで放送した番組を取材しようとしたきっかけ、取材で分かった里親あるあるの数々、里親が必ず乗り越えなければならない真実告知について、明るく、軽快なトーンで語ってくれました。

また、同番組の後に県外で取材した特別養子縁組里親の前向きなエピソードなども織り交ぜながら、血のつながらない里親子が毎日の生活の中から本当の家族になっていく素晴らしさを伝えてくれました。

特に、自分を生んだ親ではないことを告げられた里子が、「本当のお母さんじゃないんだ」と叫んだ後、一時は荒れた生活を送るものの、ずっと見守ってくれる里親の懐に飛び込み、里親を本当のお母さんと呼ぶまでの話を再放送してくれました。このエピソードは、ラジオ番組のテーマにもなった話で、何度聞いても心を打たれる内容でした。

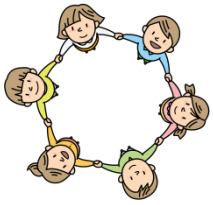
【パネルディスカッション】

コーディネーターを務めた原田さんから出された「里親に登録しようとしたきっかけ」、「子どもの委託がどう決まり、どんな形でお宅にきたのか」や「里親になり、色々な子どもと関わって思うこと、願うこと」などの質問に、４人の里親は、深刻な内容にもかかわらず、冗談も交えながらアクティブに明るく、分かり易く語ってくれました。

コーディネーターとパネラーとの絶妙なやり取りに、フロア全体がすっかり惹きこまれていくのが分かり、里親の真実の姿を通して、里親の魅力を知ってもらうよい機会になったと実感しました。

参加者の感想から

- 原田さんの世界に吸い込まれた。
- 里親さんの養育実践は全ての子ども支援に繋がると感じた。
- 里親さんの心の深さと愛に感動した。
- 子ども達への愛情や思いが素晴らしい。
- 皆さんがとても明るく里親さんをされていることにびっくり。
- 里親同士のつながりも大切な絆。
- 自分の人生のこれからを考える機会となった。



活動報告(8 月～10 月)

８月２日（金）	お仕事フェスタ（ はるかぜ主催） 参加者　　17 人　(静岡市里親子)	焼津市にて
８月６日（火）	養子縁組里親研修 参加者　10 人	静岡市児童相談所にて
８月９日（金）	キャリア・カウンセリング・プロジェクト研修 参加者　18 人	静岡市きてこにて
９月２日（月）	静岡乳児院懇談会 参加者　　27 人	静岡乳児院にて
９月６日（金）	ちびっこサロン 参加者　15 人	静岡市児童相談所にて
９月 10 日（火）	スキルアップ研修 「子どもの権利・真実告知体験談」 発表者　　３人 参加者　　24 人	少年の家にて
９月 12 日（木）	静岡市里親会役員会　　（里親会行事）	静岡市児童相談所にて
９月 17 日（火）	相談員研修・相談員会議	少年の家にて
９月 21 日(土)22 日（日）	里親・ちびっこ合同サロン IN　キャンプ 参加者　　77 人	島田市山の家にて
９月 26 日（木）	里親サロン 参加者　18 人	清水区にて
10 月１日（火）	ちびっこサロン 参加者　19 人	静岡市児童相談所にて
10 月３日（木）	全国里親会主催・里親制度研修講座　　（里親会行事） 参加者　　６人	自由民主党本部にて
10 月４日（金）	フォスタリング・チェンジ・プログラムフォローアップ研修	静岡市駿河区にて
10 月４日（金）	「里親の日」街頭キャンペーン　（里親会行事）	静岡市街頭にて
10 月５日（土）	キャリア・カウンセリング・プロジェクト研修 参加者　　20 人	静岡市駿河区にて
10 月８日（火）	ばぁばんち 参加者　　６人	清水区里親宅にて
10 月８日（火）	里親相談コーナー	静岡市葵区役所
10 月 10 日（木）	スキルアップ研修 「発達障害の理解と支援」 講師　静岡北特別支援学校教諭　長谷川　美穂氏 参加者　19 人	少年の家にて
10 月 15 日（火）	ばぁばんち 参加者　　６人	清水区里親宅にて
10 月 20 日（日）	里親月間記念講演会 講師　静岡放送アナウンサー　原田亜弥子氏 参加者　　118 人	アイセル 21 にて
10 月 29 日（火）	里親サロン 参加者　　15 人	葵区にて

大人の魅力を聞いてみよう！

お仕事フェスタ

日　時：令和元年８月２（金）
　　10：30　～
場　所：焼津市和田地域交流センター
　　わかしお

≪ ブース ≫
福祉の仕事、塗装工事、漁師、
洋服屋、パン屋、就職支援員、
畳職人、測量士、美容師、看護師 、
保育士、ビデオカメラマン、介護士

≪ 参加者 ≫　　３７名　(子どものみ)
静岡市里親会、中部地区里親会、春風寮、
静岡ホームの小学校３年生～高校３年生

≪参加した子どもの声（アンケートより）≫
・もう一度自分の将来について考えようと思った。
・保育士の人が話をしてくれた。小さな子と話したり
　することを頑張ろうと思いました。
・美容師さんのようになりたいから、勉強を頑張ろうと思いました。
・自分の得意なこと、長所などをしっかりと見つけられるようにしたい。

編集後記

　支援センターに勤務するようになって半年がたちました。この半年間でサロンや行事等に参加する中で、あらためて里親会の素晴らしさを実感しています。核家族化や近所付き合いもほとんどなくなって、育児も孤立しがちな現代ですが、それぞれの里親さんがよその子もうちの子もみんなで成長を喜び合い、見守っている様子を見ると暖かい気持ちになります。養育に不安はつきものです。そんな時に里親仲間や相談できる機関が身近にあると心強いですね。
　支援センターの職員として何でも相談してもらえるよう、これから里親さんたちと、もっともっと信頼関係を作っていきたなと考えています。よろしく、お願いします。

NPO法人　**静岡市里親家庭支援センター**
〒420－0947　静岡市堤町914番地の417(静岡市児童相談所内)
TEL. 275－2252・FAX. 255－2052
担当者　望月(秀)　望月(た)　杉山　トマジ
E-mail: satooya@skyblue.ocn.ne.jp